

日本薬局方 生理食塩液

生 理 食 塩 液 SN

規制区分：処方箋医薬品

注意－医師等の処方箋により使用すること

貯 法：室温保存

使用期限：容器及び外装に表示

取扱い上の注意：「取扱い上の注意」の項参照

承認番号	21400AMY00230000
薬価収載	2002年10月
販売開始	2002年10月

【組成・性状】

生理食塩液SNは、1管(20mL)中に塩化ナトリウム0.18gを含有する無色澄明の液で、弱い塩味がある。

pH	4.5～8.0	
電解質濃度 (mEq/L)	Na ⁺	Cl ⁻
	154	154

【効能・効果】

注 射：細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤

外 用：皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布
含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進

その他：医療用器具の洗浄

【用法・用量】

注 射：(1)通常20～1,000mLを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

(2)適量を取り、注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。

外 用：(1)皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。

(2)含そう、噴霧吸入に用いる。

その他：医療用器具の洗浄に用いる。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

(1)心臓、循環器系機能障害のある患者〔循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。〕

(2)腎障害のある患者〔水分、塩化ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

大量・急速投与：大量を急速投与すると、血清電解質異常、うっ血性心不全、浮腫、アシドーシスを起こすことがある。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

(1)調製時：注射剤の溶解・希釈液として使用する場合は、生理食塩液が適切であることを確認すること。

(2)投与前：①投与に際しては、感染に対する配慮をすること(患者の皮膚や器具消毒)。

②寒冷期には体温程度に温めて使用すること。

③開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

(3)投与時：ゆっくり静脈内に投与すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：塩化ナトリウム (Sodium Chloride)

分子式：NaCl

分子量：58.44

性 状：無色又は白色の結晶又は結晶性の粉末である。

水に溶けやすく、エタノール(99.5)にほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

安定性試験結果¹⁾

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月)の結果、生理食塩液SNは通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

【包 装】

20mL×50管(ポリエチレン製アンプル)

【主要文献】

1) シオノケミカル(株)：生理食塩液SNの安定性に関する資料(社内資料)

※【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

シオノケミカル株式会社 学術情報本部

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目10番10号

TEL：03-5202-0213

FAX：03-5202-0230

※ 製造販売(輸入)元

 **シオノケミカル株式会社**
東京都中央区八重洲2丁目10番10号

2280120-G